

# 会 議 録

会議の名称	第1回 近鉄郡山駅周辺地区整備検討委員会
開催日時	令和5年8月2日（水）14時～15時30分
開催場所	大和郡山市役所4階 大会議室
事務局	大和郡山市 都市建設部 まちづくり戦略課 まちづくり協定推進室
出席者	<p><b>委員</b></p> <p>【学識経験者】近畿大学 ※会長 大阪公立大学大学院</p> <p>【地元関係団体】大和郡山市自治連合会 ※副会長 大和郡山市商工会 郡山柳町商店街協同組合 大和郡山市観光協会 郡山女性ネットワーク</p> <p>【議会】大和郡山市議会</p> <p>【関係事業者】近畿日本鉄道株式会社 奈良交通株式会社 大和郡山市社会福祉協議会 株式会社日本アシスト 奈良信用金庫</p> <p>【行政機関】奈良県地域デザイン推進局まちづくり連携推進課 奈良県郡山土木事務所 奈良県郡山警察署 大和郡山市総務部 大和郡山市産業振興部 大和郡山市都市建設部</p>
	事務局
欠席委員	なし
議 事	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 会長、副会長の選出について</li> <li>2. 近鉄郡山駅周辺地区整備事業について</li> <li>3. その他</li> </ol>

## 1 市長挨拶

- ・近鉄郡山駅周辺整備について、令和5年2月3日に近鉄郡山駅移設に関する基本協定が締結したこともあり、具体的な整備内容に着手していくことになりました。
- ・今年度より新たに、学識経験者や地元住民、整備により影響を受ける関係者らで構成される「近鉄郡山駅周辺地区整備検討委員会」を立ち上げ、基本設計・実施設計のための整備方針を決定していくものです。
- ・第1回検討委員会の議題としては、「会長・副会長の決定」、「現時点での計画案の説明」になります。

## 2 議事

### (1) 会長、副会長の選出について

- ・委員会運営要綱に基づき、満場一致で学識経験者である委員に会長を委任した。
- ・会長の指名により、地元関係団体の委員に副会長を委任した。

### (2) 近鉄郡山駅周辺地区整備事業について

- ・事務局からの説明（資料）

会長)

北側の城廻り線工事で自動車がスムーズに通れるような整備ができたからこそ、こちらへ車が入ってこなくても捌けるようになった。郡山城跡と駅前広場をどう繋いでいくか。あるいは、JR 郡山駅と近鉄郡山駅、箱本十三町との関係どうするか。商店街との関係をどうするか。そういう観点からもこの案でよいかを評価していただき、ご意見を賜りたい。

行政機関)

歩行者優先というのはわかるが、自転車の動線をどういう形で計画しているのか。

事務局)

自転車については、駅前広場の外周部を自歩道で通っていただくという考えで、十分な幅員を取った形で整備をしていく。新駅舎に接続するペDESTリアンデッキの下の部分に簡易型の駐輪場を整備しようと考えている。駅前広場は、自転車は入っていただけないような形で、歩行者の安全確保をするという考えで計画素案を作成している。

会長)

8 ページが非常に大きくて、9 ページの 2 つの案が小さいのは、事務局側としても 8 ページで行きたいという思いですね。8 ページの案では、公共駐車場をどこかに取らないといけないということで、日本アシストさんに協力いただきながら、現アスモのところに公共駐車場の台数分を取りたいと思っているところだが、もしそれが上手くいかなかったら、9 ページのようにこの敷地の中で一定の駐車場台数を取らないといけないという事前の策として、9 ページの案をご提示していただいているとご理解いただければと思う。全国的にも民間の施設と公共の駐車場の抱き合わせのものが、駅前にいくつも出てきている。その事業の形を今回もやりたいなという思いで、駅前公共駐車場を近隣商業施設等の駅周辺に再整備する案を提案していただいている。

行政機関)

資料では、九条 11 号踏切は平常通り、12 号踏切は、自動車の通行を見直すとなっておりますが、このあたり説明をお願いします。

事務局)

現状、九条 11 号踏切と九条 12 号踏切がある。駅を北に移設するというので、九条 12 号踏切の自動車通行の見直しを方針で掲げられているが、県道なので、県との協議が必要。基本的には、駅前

に車を入れないという考え方にに基づき、九条 12 号踏切については自動車の通行を遠慮いただくような形にできないかと考えている。九条 11 号踏切は、今現在進められている九条 9 号踏切のアンダーパス工事により、踏切の渋滞を避けてくる車がかなり減るであろうという前提で、九条 11 号踏切については現状通り、車の対面通行が継続すると記載している。また、九条 11 号踏切も現状通り何も変わらないということではなく、橿原神宮前駅方面の線路を東側にふる関係で、やり直しが必要になるため、現状の歩道の改修等も実際には事業として行っていくことになる。

会長)

まちづくりの基本計画を検討している段階から城廻り線の踏切が渋滞を起こすので、それを避ける車がこちらへ回ってきてしまうという課題があった。歩いてこの町を回れる、暮らせるという観点で言えば、車はご遠慮いただくという観点で、今後検討できたらなという想定。

関係事業者)

駅で降りたお客様がバス等に乗り換えるなど、駅からの二次交通も大切。雨でも濡れずに乗り継ぎできるようなご配慮をしていただけたらと思う。

事務局)

屋根は、駅からバス停に向けての区間で設けることを検討している。階段とエスカレーター側は、全面屋根をつけることは想定していない。工事費用も重要な要素であり、精査していく中で、可能かどうかを最終判断したい。ペDESTリアンデッキが 2 段構えで整備されるので、駅を降りてすぐは、ペDESTリアンデッキ自体が屋根代わりになる。駅前の利便施設ということで、公共トイレや観光案内所のような建物も整備していく予定。

会長)

これまでは、踏切を渡らないと反対側に行けないということで、発車直前に行くと、1 本逃してしまう状況だった。これからは、スムーズに乗り換えられ、利用者にとっては非常に便利。

地元関係団体)

現状、郡山城までの動線が、市役所の西側の道から踏切を渡って行くしかない。駅前の開発に伴って、例えば、交番の西側からお城のほうへ行ける動線が検討されているのか。近鉄郡山駅を東側から降りて、市役所に沿って、踏切を渡って行くという今まで通りの動線なのか。あるいは両方を考えているのか。

事務局)

線路西側沿いに郡山高校の敷地があり、九条 10 号踏切まで市有地があるということで、道をつけることは技術的には不可能ではないが、郡山高校の敷地に被る部分が石垣積みになっており、それをセットバックするのは非常に難しい。加えて令和 4 年 11 月 10 日、国史跡になっており、道路整備は非常にハードルが高い。交番のある部分の道（市道）沿いではなく、道路を北側に上がり、鷺池の遊歩道を回遊、郡山城の西側から入っていただくというようなルートを考えている。

会長)

まちづくり基本計画を作るときには、郡山高校を移転できるともっといろんなことができるという話はあったが、そこまで広げてしまうと大変な事業になり難しい。駅の東側は、昔の城下町の町人地で平坦なところが多いが、西側は武家地で、丘の上になっていて、高低差もかなりある。高低差を解消しながら、道路をつけていくのは難しい部分もある。

関係事業者)

三の丸立体駐車場は現在、社会福祉協議会の運営とさせていただいている。駅前広場整備にあたって、駐車場はなければという思い。しかし、社会福祉協議会で耐震基準をクリアするための財力が無い。ぜひ日本アシストさんにご検討いただいて、この話がうまくいけばすごくいい駅前ができると思う。天理の駅前もコフフンという広場を整備し、その東側に立体駐車場がある。立体駐車場があるだけで随分違う。

会長)

今から 30、40 年前は、駅前広場はいわゆる交通広場として用意していた。今は、天理のコフフンの事例にも上がっていたように、市民がうまく使えるような場所として、駅前広場を整備する事例が全国、世界中で、そういう流れになっている。市民が集いイベントをできるようなスペースを取るのが、後世に残していくべき駅前広場の 1 つの形。そのためには、日本アシストさんにしっかりとした駐車場をお願いできたらと思う。駅前で待ち合わせをしようという時に、今の状況ではなかなか分かりにくい。広場やデッキの上で待ち合わせしようというような動きが生まれることを期待している。

柳町商店街との繋ぎについては、動線が変わってしまうがうまくいきそうか。

地元関係団体)

駅からの動線は変わるが、柳町商店街は南北の通りなので、影響は大きくないと思う。矢田筋の駅前商店街さんが新駅移設によってかなり影響が出てくると思う。

公共駐車場を商業施設のところに、ということだが、今現在のアスモのところの上に立体駐車場を併設するというような案なのか。

事務局)

具体的な形はこれから検討していく。方向性について、日本アシストさんと協議を重ねている。整備費用も大きなウエイトを占めるので、国庫補助も活用しながら、様々な制約を踏まえて 1 番いい形で、アスモさん側で駐車場の整備を今後示したい。

地元関係団体)

郡山高校の南側にある病院関係者駐車場の活用、工事期間中の代替駐車場としての利用は可能か。市役所新庁舎前駐車場、中央公民館(三の丸会館)駐車場もあるが、休日も含めて開放できないか。天理駅前は 90 分無料だが、市役所新庁舎前駐車場は 2 時間無料。長い工事期間の駐車場として確保できる。近隣の公共駐車場を共有できたらと思う。

商業施設のところに駐車場ということだが、今現在、三の丸駐車場も上の階はほとんど空いている。天理駅前広場駐車場は、稼働率がよく、利用者にとって非常に利便性が高いと思う。一方、道を渡

った天理駅前立体駐車場は空いている。駅前駐車場はそこまで確保する必要がない、と個人的には思う。それより、朝夕、雨の日は、送迎の一般車が止まって道路塞いでいるような状態が続いているので、そういう方々が安心して停められるような駐車スペースを駅前に確保される方がいいと思う。

事務局)

病院の駐車場は、一時的に市が借りていた部分も含め、県有地。病院の駐車場は、病院がある限りは必要。市が借りていた西側と南側は、県から払い受けられないか協議を進めている。市役所駐車場の活用も含め、駅全体で駐車台数を考えていきたい。アスモ側での駐車場整備については、既往の検討業務の中で、最適利用台数 123 台という数字が出ている。しかし、お城まつりの時の稼働率は非常に高い。全体的なバランスを見ながら、最終的な駐車台数を決めたい。

会長)

駅周辺の1つ1つの駐車場はコンパクトだが、合わせたら一定の駐車台数がある。将来的に駅周辺の駐車場を共有できるシステムが構築できたらと思う。

まちづくり基本計画を作った時は、矢田町通りにおける道路空間の整備ということで、観光客が安心して歩けるような、あるいは景観に合わせるような理想化ができたかなという計画もある。駅が少し遠くなる分、魅力作りができることによって、矢田町筋商店街の方々にもメリットがあればいいと思う。地元の方は、箱本十三町の道もどこを通ったらどこ行けるかご存じかと思うが、観光客にとっては迷路状になっている。JR 郡山駅から近鉄の郡山駅へ抜けられるのが矢田町筋であるので、うまく観光客の流れが誘導できるような、そういう理想化も検討できないかなということである。

学識経験者)

大きな方向性として、駐車場を設けずに広場を作ることは賛同する。これから細かい部分を検討されるという前提で、意見を申し上げておきたい。

広場とされている、中央部のL字部分について、今はおそらく、白地の部分から形を決めてきている。つまり、バスの停留場の軌跡、タクシーや一般車の乗降、線形や軌跡で、こんな感じかなと、交差点も直行させたりしてこんな配置だろう、ということだと思う。広場については、まだ使い方がよくわからないという印象。広場は、どんな使い方をするか念頭に置いておかないと、結局は誰も使わない寂しい空間になってしまうと元も子もない。この広場をどんな風に使っていくのかというような、スタディを繰り返していただきたい。イベントのある土日だけ賑わうということだと、よくないと思う。広場の良さは、春夏秋冬、朝昼晩、平日、休日、と使い方を変化できることだと思うので、様々な使い方を想定して、この形状が良いという話が出てくると思う。今、例えば大体 20m くらいの幅が取られているが、利活用しようとした時に、もう少し厚み持たせたい、長さを取りたいということもあると思う。

町に人を流す仕掛けも考えていただきたい。矢田町通りと東側の方、町の方に人を流す、郡山城も同様。広場から町につながる動線が良くなっているかということ、そうでもないという気もする。とりわけ、矢田町通り側は、いい動線になっていると言えない。広場から矢田町通りに入っていけるような、歩きたくなるような道作りはとても重要。その辺りは少し工夫の余地がある。広場計画素案の南側の部分が建物の敷地形状に合わせてクランク状になっていて、利活用するのは難しい。当面、このような土地利用になるのはやむを得ないのはわかるが、商店街側に抜けていくところやバス乗降場も

あるので、中長期的な視野も含めた広場としての使い方、あるいは町との接合の考え方は必要。

駐車場、駐輪場の配置を今回考え直すタイミング。便利すぎたり、駐車場と駅が近すぎたりすると、駐車場から駅には動くが、町には流れないということになる。駐輪場、自動車、駅、これから出てくる新しい乗り物が接点を取るような配置計画を考えていただけるといいと思う。

ぜひ郡山の顔になるような広場作りをしていただきたい。デザインコンペ、デザインプロポなどで提案を受け付けていただくような仕組みで、いいデザインで作っていただければと思う。

会長)

今のお話を少し違う見方をすれば、車の動線計画はしっかりと押さえられているが、イベントをどのようにするかという機能面の押さえが足りないということかと思う。どういう機能でどのように使うか、シミュレーションしていただければと思う。車の動線はしっかり考えていただいているが、歩行者動線をどうするか。特に、観光客の誘導。川本家住宅、源九郎稲荷神社等はもう少し南側の地域になる。どのように人を流していけばいいのか、うまくいっているかどうか、歩行者の目線でチェックしていただければと思う。

駅のデザインも変わる。ぜひ郡山らしい駅舎になったらいいなと思う。畝傍御陵前駅は、大和棟を模した形。郡山の駅はどのようなデザインが郡山らしいか一緒に考えさせていただいて、駅のデザインもいいものにできたらなと期待している。

行政機関)

計画素案なのでこれから検討されると思うが、バスロータリーとタクシーはこれで良いと思うが、送迎の一般車はどうしても集中する。バスの時刻表も密になっている時間帯。出口、入口はこれでいいと思うが、どこに逃がすのかというのは、今後検討していただきたい。

事務局)

現在の矢田町通りは西から東の一方通行である。これを変えると大混乱に陥るので、堅持したい。

また、朝夕の送り迎えということでは、図面でお示ししている乗降スペースでは吸収できない。今後、アスモ側で整備する公共駐車場をうまく使って、車両を吸収できないか考えていきたい。

会長)

短時間は無料にすることで、送迎の車は駐車場に一旦止まってくような捌き方も可能。

今のご時世、タクシーはずっと駅前で待つ必要がない。アプリで呼んで来ていただく仕組みが出来上がっている。いろんなシステムを使いながら、捌き方が考えられると思う。今あまりメジャーではない新しい乗り物が現れた時に、どこでどう捌くのかを考える時期に差しかかっていると思う。未来志向で考えていただければと思う。

今日は様々なご意見賜りましたので、事務局の方でうまく盛り込んでいただきながら、次回修正案を出させていただければと思う。

### (3) 次回会議

- ・本日の協議を踏まえ、第2回の委員会にて修正案について検討する。
- ・第2回の委員会の開催は11月、12月頃を予定している。

- ・ 次回委員会までに事務局と各関係者で個別協議を行い、意見を整理していく。